

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学皮膚科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年2月

福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 山本俊幸

■ 研究課題名

掌蹠膿疱症の病変におけるニコチン性およびムスカリン性アセチルコリン受容体の関与

■ 研究期間

2026年2月～2029年12月

■ 研究の目的・意義

掌蹠膿疱症は中年の手掌足底に対称性の無菌性膿疱を形成し、慢性に経過する疾患です。最近、我々は過去17年間に当教室において経験した掌蹠膿疱症患者について、家族歴、悪性腫瘍を含む併存疾患、喫煙歴、骨関節症状、爪病変、手掌・足底における罹患部位、掌蹠外病変、金属アレルギー、感染病巣の有無（耳鼻科疾患、歯科疾患など）、治療について検討しました。

この中で、手足のうちの好発部位を詳細に検討したところ、手は小指球、母指球が多く、手指屈側、MP関節屈側、手掌中央と続きました。足は足底内側、踵、足底外側と多く、足趾屈側、MP関節屈側と続きました。

これまで、掌蹠膿疱症は梅雨～夏にかけての時期に悪化することが知られており、多汗を伴う患者も多いですが、汗疱様水疱が、汗疱の合併なのか膿疱の前段階なのかは議論があります。

また、表皮内汗管が炎症の primary target とされていますが、汗管や発汗に着目した研究は未だ少なく、汗管および皮膚に発現するアセチルコリン受容体に注目することで掌蹠膿疱症の病態のさらなる解明につながると考えています。

■ 研究対象となる方

2007年1月1日から2025年12月31日までに当院皮膚科を受診し、掌蹠膿疱症と診断され、皮膚生検を行われた患者さんが対象です。また、研究過程で病理組織を比較するため、同期間に異

汗性湿疹と診断され、皮膚生検を行った患者さんも対象となります。

■ 研究の方法

2007年から2025年までの21年間に当科で経験した掌蹠膿疱症患者さんのうち皮膚生検を行った患者さんの年齢、性別、家族歴、併存疾患、喫煙歴、臨床症状、金属アレルギー、感染病巣の有無について情報収集を行います。また、病理組織を用いて、病変部局所におけるアセチルコリン受容体の分布の発現解析、アセチルコリン受容体の発現と金属アレルギー、病巣感染、喫煙との関連および手足の病変部の汗管、汗腺上皮におけるケラチンパターンとCCL20の発現の相関性について検討を行います。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年3月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学皮膚科学講座であり、研究責任者は皮膚科学講座 山本俊幸です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学皮膚科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当しません

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部皮膚学講座 担当：山本俊幸

2025年12月8日作成（第1.0版）

電話：024-547-1309 FAX：024-547-1309
e-mail：dermatol@fmu.ac.jp